

# 〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2021年 助成団体活動成果レポート



助成団体

## 特定非営利活動法人 リコリス

秋田県秋田市

プロジェクト名

### 「リコリス街の研究会」を通し街の人と一緒に飲食店を増やすことで 街ににぎわいをもたらす活動

#### ■地域の課題

秋田県秋田市の中心市街地が衰退したことで歩く人が減少し街に活気がなくなっています。中心市街地の衰退は他の自治体でも見られますが、私たちが拠点を置く秋田市でも店舗の廃業が進み空き店舗が増加傾向にあります。そのため、街の店舗数が減り連続していない歯抜け状態になっており、人々は歩く先に店舗が無いため次第に足を伸ばさないようになってしまいました。結果、昔はにぎわっていた中心市街地の活気が失われ、駅前やターミナル付近にしか人が歩かず、回遊性が低い状態になっています。コロナ禍ではさらに店舗の廃業が加速しました。



#### ■当団体の紹介

人通りが少なくなった秋田市中心市街地の空き店舗に飲食店を出店し、活性化を図ります。具体的には、住民有志でまちづくりや建築の専門家を交えた勉強会(リコリス街の研究会)を開催し、空き店舗をDIYで改装する際に必要となる技術等について学び、実際に空き店舗を改装し飲食店の出店を進めることで、まちなかに賑わいを取り戻します。





## プロジェクトの概要

### ■背景・目的は？

#### 【活動内容】

衰退した街の状況を再興したいと考えた私たちは街の使われていない店舗や建物を利用し、秋田市の街の皆さんと飲食店を中心に中心市街地への出店を増やす「リコリスプロジェクト」を立ち上げました。

飲食店から始める理由は、誰もが日常的に利用する場所で人の集客力が他業種に比べ高いことにあります。出店・集積させることで人の流れをまずは作り、その間を埋めるように他業種が出店していくような順番を想定しています。

#### 【主な対象者】

- ・ 出店側：飲食店オーナー（コロナの影響を受け廃業したオーナーも含む）、新規出店希望者
- ・ サポート側：秋田の将来を憂いており、街のために貢献したいと考える秋田県の皆さん

#### 【目的】

街の研究会や発信活動を通し、対象者それぞれの立場から秋田の街へ貢献するコミュニティをすることで街づくりに積極的に関わる人の数を増やします。

また、出店しやすく経営が長続きするためのデータに基づく出店計画作成、DIYでの改装サポートを街の皆さんと行うことで中心市街地への新規出店数を増やします。

結果として、街にたくさんの人が回遊する状態を作ります。

### ■具体的な活動は？

#### 2022年4月

- ・ 公式ホームページ作成
- ・ SNSアカウント開設（Twitter、Facebook）
- ・ 4月10日  
秋田魁新報「若者のミカタ」活動掲載  
ホームページ、各種SNSでの発信を開始したことで興味を持った地元新聞社から活動内容について掲載オファーがありました。
- ・ 4月18日  
街の研究会（ワークショップ）開催  
飲食店出店、街づくりに興味がある方々が参加。活動についての説明会を開催。（秋田市にぎわい交流館AU、参加人数15名）  
他県（岩手県）からの参加もあり、参加者それぞれの街に対する想いを話すことで街の活気につなげるために出店するという意思が明確になりました。

#### 2022年5月

- ・ 5月10日  
秋田経済新聞掲載（記事：<https://akita.keizai.biz/headline/3597/>）
- ・ 秋田市中心市街地内のDIY改装に適した空き店舗取得に向けた活動開始

#### 2022年6月

- ・ 「秋田市川反休廃業状況調査」を実施（ゼンリン住宅地図を参考図書として購入）  
中心市街地内で特にコロナの影響が大きかった県内一の繁華街・川反の空き店舗状況を調べました。想定以上に被害が大きくコロナ前からの約3年半間で118軒の店舗がなくなっていたことがわかりました。（調査結果まとめ：<http://ricores.org/research.html>）
- ・ 6月20日  
秋田魁新報 調査結果掲載  
繁華街の衰退を実際の数字で表したことはインパクトが大きかったようで、調査まとめをTwitterで発信すると反響がありました。その後新聞に掲載されると、川反を応援しようと飲食店に足を運ぶ人もいたようです。
- ・ 空き店舗を取得

## ■具体的な活動は？

### 2022年7月

- 7月16日  
河北新報掲載

### 2022年8月

- 8月21日  
中小企業庁「商店街等における課題解決のための専門家派遣及びワークショップ」採択。全国から派遣された専門家の皆さんと出店に関わるデータ活用についてのワークショップを開催。(参加人数7名)

### 2022年10月

- 10月16日  
街の研究会(ワークショップ)(参加人数8名)  
東北電力株式会社秋田支店荻原貴幸さん参加。街の現状把握のための人流データ取得について意見をいただきました。

### 2022年12月

- 12月4日  
街の研究会(ワークショップ)(参加人数11名)  
東北電力株式会社秋田支店佐藤志乃さん参加。人流データ取得の際のAIカメラを電柱に設置するための意見をいただきました。



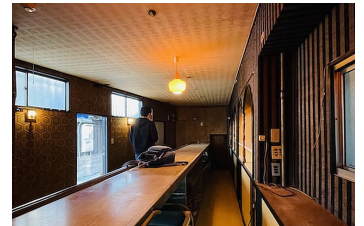
秋田魁新報「若者のミカタ」掲載  
(2022年4月10日)



街の研究会開催。活動についてのプレゼンテーション



取得したスナック跡地の空き店舗(外観)



取得したスナック跡地の空き店舗

## ■活動の成果は？

- ・秋田県内の街の皆さんからの認知度が高まりました。  
活動を発信する中で興味を持って協力してくださる方々が増えました。  
特に「秋田市川反休廃業状況調査」の反響が大きく、中心市街地内で特にコロナの影響が大きかった川反の店舗の減少数を住宅地図を参考にしながら実際に歩いて調べ、可視化したことは今後の活動の一つである「データに基づく出店計画作成」のベースになる調査となりました。
- ・今後街の皆さんと一緒にDIYをして拠点を作るための足がかりができました。  
コロナの影響もあり実際にDIY作業を行うことは期間内にはできませんでしたが、適した店舗を取得できましたので今後拠点づくりに活かしていきたいです。
- ・人流データ取得のためのベースができました。  
東北電力株式会社秋田支店の皆さんのご協力により、街の現状把握のために人流データ取得用のAIカメラ設置に向けての活動も進めていけることになりました。

2023年からは実際の出店に向けてのコミュニティづくりとデータ活用について並行して活動していきたいと考えています。



秋田市川反での空き店舗を調査している様子



街の研究会（中小企業庁から派遣された皆さんと街を歩いて調査）



街の研究会（中小企業庁から派遣された皆さんと取得した店舗へ）



街の研究会

## 団体からのコメント

今後は取得した店舗を実際に街の皆さんとDIYして拠点となる店舗を作ります。

また、電柱にAIカメラを設置する計画についてもまずはコロナの影響の強かった川反から進めていきたいと考えています。そのために発信活動により注力していきたいです。

リコリスプロジェクトに協力してくださる方々がこの1年間で増えましたが今後は秋田県内、秋田県外両方での協力者を募っていきたいです。

県外在住の秋田県民の皆さんと一緒に街のために貢献できるコミュニティを主にオンライン上で作っていく予定です。

人口流出率が全国でもトップの秋田県だからこそ、県外にスキルを持った人材がいると考えています。

今後は秋田県内外の両方から活動を進めていきたいです。